

## にじあいす

たんばいちしょうがっこう 1ねん1くみ

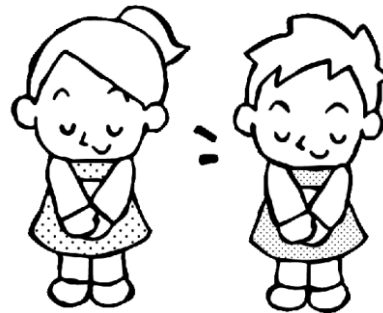
3月24日(水) だい110ごう(最終号)



### 1年間ありがとうございました

はやいもので今日、1年生の最後の日をむかえました。小学校という新しい環境に、少しずつ慣れていく時間が休校でなくなってしまい、例年通りの1年間を一緒に過ごせないところからのスタートでした。担任として子どもたちに1年間ですることができるようになってほしいことがたくさんありました。1年生だからこそできてほしいこともたくさんありました。求めるものが多すぎるかなあと思った時もありました。けれど、子どもたちはたくましく、どんどんできることをふやしていきました。毎日みんなと関わり合いながら、笑ったり、おこったり、泣いたりしてどんなこともみんな考えあってきました。

いろんなことに振り回されながらの1年でしたが、本当に子どもたちはよく頑張ってくれました。みんないい顔で一年間終えられたのも、お家の方のサポートのおかげです。本当に1年間ありがとうございました。さみしいですが、この『にじあいす』も本日で終了です。(たくさんの読者に読んでいただいて本当に心強かったです。ありがとうございました。)新年度からも、また新たな環境でぼちぼちのんびり育ててほしいなあと思います。



ありがとうございました♪

### きりかえ

まいしゅう月よう日。3じかん目あとの休みじかん。先生はいつもきがえながらかंगाえている。

「きょうこそ、みんなが先生より早くとしょしつにおるんちゃうやろか。」

先生はいつも、きがえに行くことそのものがおそい。たいいくのかたづけなどをしているからだ。けつろんからいうと、みんなが先生のきがえより早くとしょしつにいったことは一どもなかった。

しかし、3月のさいごのとしょのじかんは、いつもとはちがった。先生は、いつものようにかいだんをおりるまえにとしょしつをのぞく。みんなはいない。一年生にはまだきびしかったかとおもいながらかいだんをおり、ろうかでならばみんなのまえに立つ。するとすぐに、まえをむく子がいた。れつをととのえる子がいた。しずかにする子がいた。こんなことは、はじめてだった。そのときにもいったことだが、

「すごい！」

きちんときりかえができています。みんなにひつようだったのはきかけだったとした。それが先生がまえに立つことだった。どうじに、

「先生ってそんなにこわい？」

ともおもったが、ひとまずおいておこう。

チャイムはなんのためにあるのか。じゅぎょうのあいさつはなんのためにするのか。それはきりかえのためだ。みんなは、きりかえができないわけではない。2年生へむけて、どんなときにそれがひつようなのかをかंगाえられるようになってほしい。

【森本 かずひろさん】

